

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 名古屋東急ホテル  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 谷口 優  
幹事 竹内 克豊  
広報・会報委員長 池 森 由 幸

No. 36 奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012~2013年度 RI会長 田中 作次

今日の例会  
第1454回 平成25年 5月 7日 (火)  
会員卓話  
佐久間君 鈴木(理)君 舎人君

先週の例会  
第1453回 平成25年 4月 23日 (火) 晴  
友愛の日

- ◆奉仕の理想
- ◆四つのテスト
- ◆ビジター紹介 1名
- ◆ゲスト紹介 オークン(株) 松岡 多加倫様 (大谷君ゲスト)
- ◆出席報告  
会員 37 ( 32 ) 名 出席 28名  
出席率 87.50 %  
前々回 4 / 9 (修正出席率) 96.88 %

### 竹内幹事報告

- 1) 本日例会終了後 第4回クラブアセンブリーを開催致します。担当の方々には3階「葵の間」にお集まり下さい。その後、理事役員会を開催致しますので、現・次年度理事役員の方々はそのまますみお残り下さい
- 2) 次週4月30日は休会、次回例会は5月7日です。本日お渡し致しました《5・6月例会案内》お目通し下さい。4月30日より5月6日まで事務局は休館となりますので、緊急の場合は、連絡網にて連絡させていただきます
- 3) 5月のロータリーレートが1ドル=98円に変更になりましたので、お知らせ致します

### 谷口会長挨拶

ロータリーの友は1953年1月から発刊されています。1952年に日本のロータリークラブが2地区に分かれることになり、両地区の情報共有のために発刊されたとのこと。当初は横書きの書式でスタートしましたが、1972年からロータリーの友は、縦書きと横書きの構成になりました。縦書きは国内情報や会員の投稿記事を掲載し、横書きは国際的な情報を掲載しているとのこと。投稿記事は、新鮮な内容で、誰が見てもわかりやすい内

容であること、写真もひな壇に並ぶ記念写真ではなく、活動風景を写したものを掲載することです。

ロータリーの友は1980年からRIの公式の雑誌として承認されました。そのためRIの記事を掲載する義務を負うことになっています。その指定記事として2月、5月、11月には「グローバル・アウトLOOK」等が掲載されています。昨年からは、新入会員を対象とした「はじめる一歩」という記事を連載するようになっていました。ロータリーの誕生からの沿革やルーキーにも役立つ情報を説明しています。好評に答えて次年度も続けられるそうです。以上のことからロータリーの友は、日本独自のロータリー誌であり、RIが発行しているものを日本語訳したものではありません。

ロータリー定款をみるとロータリー誌を購読する義務があるとされていますが、会員は必ず購入するのですが、あまり読まれていません。

RIとしては1911年から発刊されている「ザ・ロータリアン」という雑誌があります。

ロータリーの友の別冊として、「世界と日本」という名称の雑誌が2008年から毎年8月に発刊されています。以上のような歴史がある日本独自のロータリー雑誌であるものです。皆さん方誇りを持って読んで下さい。

### ◆講演 “ 雑 感 ”

竹内 眞三君



『ヘソ曲がりの話し』と題してテーブルスピーチをしたのが、第1042回の例会でした。故 小坂井会長、舎人幹事の時です。その検証を兼ねて三題話風にまとめてみました。

第1番に、ロータリークラブの運営についてです。

私には金太郎飴が延々と続いている様に思えるのです。例えば、ガバナー補佐の立ち位置が明らかではありません。形式的な存在としか感ぜられないのは何故でしょう。本音で各クラブの悩める点、問題点他の指摘助言はあるのでしょうか。提案があります。それは、補佐訪問に当たって、当年度会長及び直前会長並びに夫々の幹事との同席を組み入れたら如何と思うのです。出来た事、出来なかった事、喜怒哀楽のゴミ捨て場となって知恵をお貸し頂いたら、と考えます。当年度会長幹事もどんなにか力強い事かと考えるのです。

ロータリーの機構もシカゴで発足した「100年」を越

えました。世の変遷に呼応して仕組、考え方を少しずつ変えていく事が肝要と思います。唯単なるネーミングの変更なんて意味がありません。例えば「F.S.M.」も何時の間にか消えました。か、と思えば古いロータリアンには意味不明の「委員会」が矢鱈と誕生したように思えてなりません。もっと言えば、例えば『1 ガバナー 1 新ロータリークラブ新設』はガバナーの義務ですか、見得ですか。私には 10 人のパストガバナーがいれば新たに 10 ロータリークラブが存在するなんて、無定見の標本に見えてしまいますが、どうでしょう。少産少死は今後一層進むことが決定です。新クラブ設立は見送ると宣言する知力あるガバナーを待望するものです。

又、一方で 1 業種 1 名の鉄則を変更して会員増強を計ったものの有耶無耶となりましたが、その後どうなりましたか。

次に「休会者」が相変わらず多い。出席委員会からその内実を明らかにして頂きたいものです。仕事が多忙だからとの事が多いそうですが、忙しかろうが暇であろうが、男子たる者 45 才～65 才は働き盛りではありませんか。そこを都合して出席してこそ意義があると私は考えるのですが如何でしょう。

次に出席委員へのお願いです。蜂谷君の例<他クラブでのサインメークの場合、ホームクラブのニコボックスへ 1,000 円程度(但し月当たり上限 5,000 円)を入れて“ホームクラブの和”とクラブ活動に対する怠慢に対するささやかなる謝意>としたらどうでしょう？

御一考頂けたらと存じます。当クラブをロータリアンとして不適格者の天国にしないための一策と考えるのですが。出席委員会の大切な仕事として頂けたらと面白いと思うのですが遊びが過ぎますか。

会員諸兄の手帳に「毎週火曜日例会日」として、丸を打って於いて下さい。余程の事情以外は気構え次第だと私は考えているからです。

皆さん今一度考えてみましょう。ロータリアンの責務の二大責任は「会費の納入」と「例会出席」だった事を。夫々、容易にする仕掛けが工夫してある事はロータリーの先輩達のお陰だと感謝するのです。

では第 2 題に移りましょう。

平成 13 年 11 月 14 日付けの中日新聞の見出しに「公約責務 900 兆円」とあって、一体何の意味かと掲載された河宮信郎先生にお願いして解説と対策を伺いました。平成 16 年 6 月 1 日(火)の事です。識者は既に平成 10 年頃から警鐘をならしていたのですが 13 年になってやっと新聞に載る様になったのです。委細は諸子御承知の如く 55 年体制の無責任且つ『誰も責任をとろうとしない』檻にとりこまれ、得意な先延ばしで今やその額 1000 兆円になろうとしています。この頃、日産自動車を再建したカルロスゴーンは日産社員を称して「目の前で火事が起こっているのにだれも消そうとしない」と表現しました。彼等は誰かが消してくれるだろうと思っていました。「今の日本人は皆かつての日産社員である」と極言してよかろうと思っています。アベノミクスとやらも果たして打ち出の小槌たり得るでしょうか。

私は今に「悪者を演ずる役」(私にはわかりませんが)を造り出して実際の責任者はその陰にかくれる・・・という常套手段が私の寿命のある中に出現するのではな

いかと案じています

わが千種ロータリークラブの会場だった厚生年金会館は姿を消しました。厚生年金運用に関与した「年金族」は『政』『官』を問わず誰一人として責任を取りません。日付の経過するのを待って人々の記憶が薄れてゆくのを期待しているのでしょうか。マスコミの浮気性は云わずもがなです。冒頭の河宮先生の公的債務も要は「国家破産をどういう形ですか」というお話でした。お話がデカ過ぎて私の脳細胞ではオボロ気にしか理解できませんでした。

第 3 題では大乘と小乗という考えを申し述べたいと思います。佛教では他力と自力に大別される様です。

ロータリーへ入会しまして様々な事を学びました。およそ寄付をして金額を公表して恬として恥じない文化。私は大雑把に「小乗」文化とします。“一隅を照らす”文化は(ひそやかな文化で)謙譲の文化と考えます。

一口に言えば目先の効能を願う考えを小乗。大乘は遅効性の肥料のようなものです。何れが何れかは敢えて申しませんが、寄金をし、植樹をし、レリーフを寄贈する、一方目先では判然とせぬものの寒い時期の寒肥の様なものが大乘とは云えませんが。

医療に係わってきた私にはこの辺は更に明らかにすべきでしょう。

## 地区協議会報告レポート》

### ◆加藤 重雄君 第 3 分科会報告

#### ロータリークラブの職業奉仕について

司会を西尾ロータリークラブの次期地区副幹事、岩瀬正範さんの基で定刻に始まった。最初に豊橋ロータリークラブの次期職業奉仕委員長からロータリーの職業奉仕活動について以下のように説明された。

- 1) 職業は奉仕の一つの機会であると考えること。
  - 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德基準に対し、名実ともに忠実であること。
  - 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理基準を推進するために全力を尽くすこと。
  - 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、公正であること。
  - 5) 社会に役立つすべての仕事に対し、それに伴う名譽を認め、敬意を表すること。
  - 6) 自己の職業上の才能を捧げて、青少年に機会を開き他者の特別なニーズに応え地域社会の生活の質を高めること。
  - 7) 広告に際して、また自己の事業または専門職務について人々に伝える際には、正直を貫くこと。
  - 8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めたり、与えたりしないこと。
- これらを挙げられ職場で高い倫理基準を推進して欲しいと述べられた。このあと、次期職業奉仕副委員長の名古屋東山ロータリークラブ、早川和男さんからプログラムの作成について説明があった。最後に 2004～05 年度地区職業奉仕委員長で、名古屋城北ロータリークラブの太田達夫さんの講評で熱の入った分科会を終えた。

★ニコボックスは次回掲載させていただきます

次回例会：平成 25 年 5 月 14 日(火) 3 階 錦の間  
マーケティングアイズ代表 理央 周(りおう めぐる)様  
“イノベーション的発想術”